

0110

0112



密号五八三平 其二十三
 密号五八四平 其二十二 其三
 一紙、上通交相成
 一紙、上通交相成
 友房

陸松齋

參謀總長一圓奉案

首題 牛二付八月三十日附參機第七九號
第一題 會ノ趣異存ナシ

六九

上奏 奉

臨時派遣第十師團解散帰還ニ関スル件制定方施行ノ件

臨時派遣第十師團解散帰還ニ関スル件

先裁相成奏ニ付テハ別紙軍令案ノ通

之カ施行ヲ命セラレ度謹テ奏ス

朕臨時派遣第十師團解散歸還ニ関スル
件ヲ制定シ之ヲ施行ヲ命ス

御名御璽

年 月 日

陸軍大臣

軍令陸甲第 号

(別紙、通)

陸極第 号

臨時派遣第十師團解散歸還ニ関スル規定ノ

件 (連)

陸軍省

臨時派遣第十師團解散帰還、関係陸軍諸部隊
 別紙ノ通定ム
 七〇

臨時派遣第十師團長、関係軍司令官、

運輸部長、電報東京 (略多) 軍機

(大軍令及連ノ全文ヲ打電ノコト)

軍令陸甲第百六号

七〇

二八三

二八二

陸軍省 密受第五八三號

參謀 參密第七九八號第一

臨時派遣第十師團解散歸還ニ關スル件照會

昭和二年八月三十日 參謀總長 鈴木 莊

陸軍大臣 白川 義則 殿

臨時派遣第十師團解散歸還ニ關スル件別紙ノ通制定致度異存ナク
ハ可仰 允裁右照會ス



陸軍

陸軍省 密令第五八四號

參謀部 參謀第一 七九九號第一

臨時派遣第十師團解散歸還ニ關スル規定起案ノ件照會

昭和二年八月三十日

參謀總長 鈴木 莊

陸軍大臣 白川 義則 殿

臨時派遣第十師團解散歸還ニ關スル規定別紙ノ通起案シタルニ付
御意見承リ度異存ナクハ令達方取計ハレ度シ



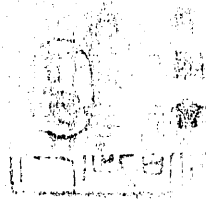
陸軍

別冊別

0110

軍

ルニ付



0117

別冊
別送
る

- 地(原所屬部隊所在地)ニ歸著解散セシトキハ之ヲ陸軍大臣及參謀總長ニ報告スルモノトス
- 五、本令實施ニ要スル輸送ハ參謀總長之ヲ掌ルモノトス陸軍運輸部長ハ歸還輸送實施ノ為參謀總長ノ區處ヲ承ケ戰時船舶輸送諸部ノ業務ニ任スルモノトス
- 六、本令實施ト共ニ各部隊ニ生スル過剩人馬ハ一時當該部隊ノ定員(數)外ト爲スコトヲ得
- 七、本令實施ニ關スル細部ノ事項ハ陸軍大臣、參謀總長協議決定ス

昭和二年八月二十六日
參謀本部第一課

臨時派遣第十師團解散歸還ニ關スル規定

- 一、本規定ハ臨時派遣第十師團解散歸還ニ關スル細部ノ事項ヲ規定スルモノトス
- 二、本規定實施ノ爲特ニ示ササルモノハ陸軍勳負計畫令細則復員ニ關スル規定ヲ準用スルモノトス
- 三、臨時派遣第十師團司令部ニ増加配屬セラレタル人員ニシテ原所屬部隊ニ復歸シタルトキハ其ノ所管長官ハ到着日階級別人負及將校ニ在リテハ官氏名ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス
- 四、臨時派遣電信班ニ屬スル人員ニシテ關東軍ヨリ派遣セラレタルモノハ關東軍司令官ノ隸下ニ復スルコトナク内地ニ歸還スルモノトス

其六

陸軍運輸部ニ臨時増加セラルル人員ハ輸送完了後原所屬ニ復歸シ其ノ結果定員ニ超過スルトキハ該部隊ノ定員外トス

其五

關東軍ヨリ第十師團ニ配屬セラレタル一等軍醫一、二等軍醫一ハ内地ニ歸還スルコトナク直接關東軍ニ復歸スルモノトス

七

本規定實施ノ為各部隊ニ生スル定員外ノ人員ハ本規定ノ實施完了後各所管長官ニ於テ取纏メ陸軍大臣及參謀總長ニ報告スルモノトス

八

入院患者ハ歸還ニ先チ成ルヘク之ヲ廣島衛戍病院ニ還送シ歸還終了ノ際尚還送シ得サル者ハ派遣地ノ地方病院ニ依託スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ陸軍大臣又ハ其ノ所管長官ニ報告又ハ通報スルモノトス

十一、派遣間追送セラ

レタル十年式輕機関銃、月属品及使習用彈藥ハ平時用定数共器トシテ其、僅差能支給スヘキニ付各部隊ラシテ携行帰還セシムルモノトス

九、派遣中任務達成、為徵備シタル人馬ハ各部隊ニ於テ適宜之ヲ解備スルモノトス

十、各部隊ノ携行又ハ派遣間追送セラレタル物件ハ別ニ示スモノノ外各部隊ノ歸還ニ際シ原交付部隊ニ還送スルモノトス

但シ天幕、雨覆、糧秣、其ノ他給養器具及陸軍衛生材料廠ヨリ追送セル蹄鐵ハ歸還ノ際特ニ要スルモノノ外關東軍倉庫ニ之ヲ送付保管スルモノトス

前項之運送糧秣ハ戰準備品トシテ保管スルヲ要スルモノノ外適宜平時用ニ充當整理スルモノトス

臨時構築物、其ノ他駐屯地ニ於テ處分スルヲ有利トス

ルモノハ適宜賣却其ノ他ノ處分ヲ為スモノトス

内地ニ歸還スル諸部隊ハ守品(似島)ニ於テ檢疫ヲ受クルモノトス

十三、本規定ニ要スル鐵道輸送、輸送處理官ハ左ノ如シ

内地鐵道

參謀本部出張負

南滿洲鐵道

關東軍司令官

十四、各部隊派遣ノ為携行又ハ追送セル諸物件ノ復舊ニ
關スル報告ハ臨時派遣第十師團ノ解散完結後一月以
内ニ之ヲ呈出スルモノトス

前項ノ報告ニハ特ニ戰用準備品ト否ラサルモノトシ

區別スルモノトス

十五

臨時派遣第十師團各部隊ノ給與ハ内地（關東州）港灣

上陸ノ前日限リ支那駐劄陸軍部隊給與令ノ適用ヲ停
止ス

陸軍部 電報譯

電報譯

八月二十一日

午前

時

分發

外務省第二號

8 31

305

陸軍部 宛 發信者 第十師團長

陸三八三其一、其二及陸三八三其二乃至其
四、八月三十日午後六時三十分乃至同七時、間
ニ受取ス

陸三八三
陸三八三
陸三八三

陸軍



為 參 謀 部 參 謀 第 七 九 八 號 第 三

參 謀 部 參 謀 第 七 九 八 號 第 三

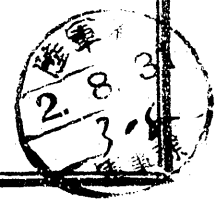
御裁可書送付ノ件通牒

昭和二年八月三十日 參謀總長 鈴木 莊

陸軍大臣 白川 義則 殿

臨時派遣第十師團解散歸還ニ關スル件別紙ノ通御裁可アリタルニ
付通牒ス

追テ御裁可書ハ用済後返戻相成度シ



四〇九

陸 軍

和

原 五八三

參謀總長同文

電報譯

九月三日

午前午後

八時

三分發

第外和六號

陸軍大臣 宛

發信者

陸軍省

師團長

青島電 四五

青島二九一

師團の歸還ニ関スル命令ニ其々概シテ在ノ如ク行動セシトス

一、青島以外ノ部隊ハ三日乃至六日鐵道輸送ヲ以テ青島ニ至ル概シテ二日尙青島ニ滞在ス、後乘船セトス

二、第十四師團ヲ以テ遣セシメ先ニ部隊ハ六日

師團司令部、歩兵第八旅團司令部、歩兵
 第三十九旅第十師隊八七日、其他八日青島
 出帆、大連及宇品に向テ。
 還送貨物、全部還送ヲ終ル、十五日頃ノ
 豫定ナリ。

報告先 六、参考謀事部

大陸軍有

秘

參謀總長同文

昭和二年九月五日

電報

九月三日午後八時三十分發
土時四十分着

陸軍大臣宛

臨時派遣第十師團長

青島ニ九一

師團ハ歸還ニ関スル命令ニ基キ概シ

テ尤ノ如ク行動セントス

一、青島以外ノ部隊ハ三日乃至六日鉄

道輸送ヲ以テ青島ニ至ル概ホ二日

間青島ニ滞在ノ後東船セントス

二、第十四師團ヨリ派遣セラレタル部隊

ハ六日。師團司令部、歩兵第八旅團

司令部、歩兵第三十九、同第十聯隊

ハ七日。其他ハ八日。青島出帆大連
及宇品ニ向フ
還送貨物ノ全部還送ヲ終ルハ十
五日頃ノ豫定ナリ

閣

總長同文

第十號

電報譯

九月八日

午前十一時

十七分著

陸軍大臣宛

發信者

東軍司令官

野砲兵第二十聯隊第二大隊及工兵

第十四大隊、一小隊、九月八日朝

無事、大連ニ上陸ヲ終ル

陸軍

大臣

次官

陸軍

陸軍

陸軍

1310

陸軍大臣宛

電報譯

第一八號

電報譯

九月九日午前午後

七時 三分 發

陸軍大臣 宛 發信者 為十四師團長

青島ヨリ歸還ノ野砲兵大隊、工兵小隊ハ九日無事

駐屯地ニ到着ス

陸軍大臣

大臣

次官

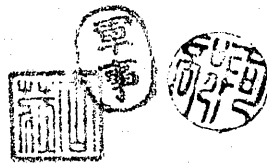
軍務

陸軍

陸軍

陸軍

納見
軍省
29
午後8時
青島電報



総長同文

電報譯

九月八日

午前午後

十時

分

分發

陸軍大臣宛

發信者

關東軍司令部

野砲兵第二十聯隊第二大隊及工兵
第十四大隊ノ一小隊ハ九月八日
朝無事大連ニ上陸ヲ終ル

陸軍

第一〇號



1 / 1

總長同文

原田凡木浦無線第

號

電報譯

九

月九

日午午後

九

時

三

分

分

著

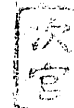
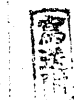
陸軍大臣宛

發信者

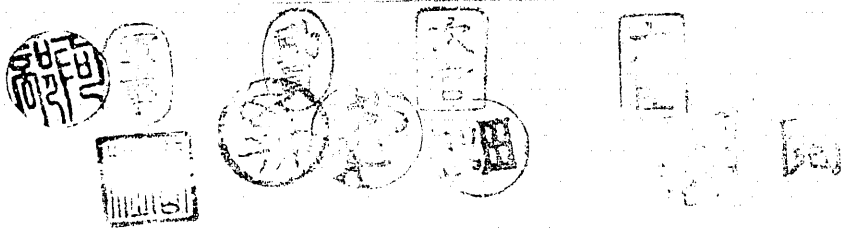
第十師團

長

本八日歩四〇ハ午後零時半、其他ハ
午後六時半青島ヲ出帆ス
臨時派遣第十師團各部隊全部
出帆ヲ終ル



0134



密
五八三
四

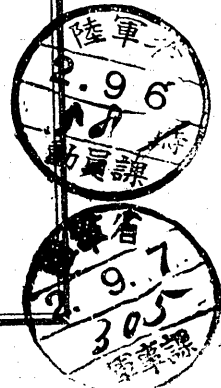
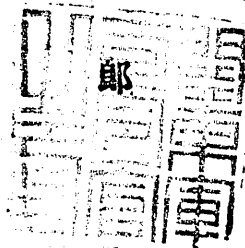
關參軍第四〇七號

臨時派遣第十師團解散歸還ニ關スル命令ノ件
報告

昭和二年九月一日 關東軍司令官 村岡長太

陸軍大臣 日川義則 殿

臨時派遣第十師團解散歸還ニ關シ別紙ノ通命令セシニ付報告ス



陸軍



寫

關參命第一九號

命令

一 臨時派遣第十師團ノ編成ヲ解キ原所屬

= 復歸セシメラル

滿洲 = 歸還スヘキ野砲兵第二十聯隊第

二 大隊及工兵第十四大隊ノ一小隊ハ關

東州上陸ノ時ヲ以テ本職ノ隸下 = 復歸

入

二 野砲兵第二十聯隊第二大隊及工兵第十

四 大隊ノ一小隊ハ大連上陸ノ時ヲ以テ

第十四師團 = 復歸セシム

三 關東憲兵隊及關東衛戍病院ヨリ臨時派

遣第十四師團 = 増加配屬セシ 將校同相當

官以下ハ各原所屬部隊 = 復歸セシム

四 第十四師團 = 復歸セシムハキ部隊ノ滿

洲内鉄道輸送ハ關東軍司令部 = 於テ担

任ス

五 細部 = 就テハ別冊臨時派遣第十四師團解

散歸還 = 關スル關東軍特別規定 = 依ル

昭和二年九月一日

關東軍司令官村岡長太郎

第十四師團長 宮地久壽馬 殿
 關東憲兵隊長 小山介藏 殿
 遼陽衛戍病院長 田川精三郎 殿
 鐵嶺衛戍病院長 小原徳太郎 殿

關參軍第四〇五號

利

臨時派遣第十師團
解散歸還ニ關スル
關東軍特別規定

昭和二年九月一日
關東軍司令部

臨時派遣第十師團解散歸還ニ関スル
關東軍特別規定

第一 本規定ハ臨時派遣第十師團解散歸還ニ関シ關

東軍ニ於テ特ニ處理スルキ事項ヲ規定スルモノトス

第二 第十四師團長、關東憲兵隊長、衛戍病院長ハ派

遣部隊若ハ配屬人員ノ原所屬部隊ニ歸還ヲタル

トキハ關東軍司令官ニ報告スルモノトス

前項配屬人員ハ階級別人員及將校同相當官

ニ在リテハ官氏名ヲモ報告スルモノトス

- 第三 關東軍ヨリ配屬シタル無線電信班屬之短波無線電信機ニ基ハ大連ニ還送シ關東軍兵器部ニ返納セシムルモノトス
- 第四 遼陽衛戍病院ヨリ野砲兵第三十聯隊ハ臨時配屬セシ看護長一名ハ派遣大隊ノ復歸後原所屬部隊ニ歸還セシムルモノトス
- 第五 歩兵第三十三旅團ニ配屬シタル通譯代用雇員ハ大連上陸ノ日關東軍司令部ニ出頭セシメ即日解雇スルモノトス
- 第六 野砲兵大隊及工兵小隊ハ派遣ノ際携行セシ諸品ヲ

總テ携行歸還スルモノトス

第七

關東軍兵器部ヨリ各部隊ニ交付若ハ追送シタル

兵器ハセテ大連ニ還送シ同部ニ返納スルモノトス

但シ演習用彈藥ヲ除ク

第八

各部隊派遣ノ際特ニ他部隊ヨリ交付ヲ受ケタル毛

布、蚊帳、防蚊覆面、腹巻、縫靴工具等ハセテ大連ニ

還送シ關東陸軍倉庫ニ返納スルモノトス

第九

關東陸軍倉庫ヨリ各部隊ニ交付シタル公用行李、

金櫃、炊具、瀝水器ハセテ大連ニ還送シ同倉庫ニ返

納スルモノトス

=

第十 第十師團ノ派遣地ニ携行若ハ追送セラレタル天幕、雨
 覆、沸水罐、糧秣、其ノ他給養器具及陸軍衛生材
 料廠ヨリ追送セシ蹄鉄ハ歸還ノ際特ニ要スルモノ外
 關東陸軍倉庫ニ送附保管セシメラルモノトス
 前項ノ還送糧秣ハ獸用準備品トシテ保管スルヲ要
 スルモノノ外適宜平時用ニ充當整理スルモノトス
 各部隊派遣地ニ携行シタル衛生材料及獸医材料ハ
 歸還ノ際特ニ携行ヲ要スルモノニアリテハ内地歸還後
 速ニ其ノ他ノモノニアリテハ派遣地ヨリ直ニセラ大連ニ還
 送シ關東陸軍倉庫ニ返納スルモノトス

野砲兵大隊ノ前項戰用衛生材料ハ遼陽衛戍病院
海城分院ニ又獸医材料中派遣ノ際關東陸軍倉庫
ヨリ交付ヲ受ケタルモノニ限リ同倉庫ニ返納スルモノトス
第^二 關東軍司令部ヨリ交付シタル秘密地圖及電信暗
號書ハ内地歸還ノ上取纏メ同部ニ返納スルモノトス
軍動員計畫令、年度訓令モ亦前項ニ準^ス
第^三 關東陸軍倉庫長ハ野砲兵大隊及工兵小隊ノ大
連ニ於ケル給^ニ、養^ヲ担任スルモノトス
但シ鐵道輸送中ノ給養及衛生ハ第十四師團司
令部ノ担任トス

第五 野砲兵大隊及工兵小隊ノ給養ハ大連上陸ノ前日限り支那駐劄陸軍部隊給其令ノ適用ヲ停止シ尔後ノ給養ハ隊伍旅費ニ依リ各部隊毎ニ支拂ヲ爲スモノトス

第六 野砲兵大隊及工兵小隊ハ大連上陸ニ際シ旅順衛戍病院大連分院附軍医ノ検査ヲ受クルモノトス 但シ該部隊ノ軍馬ハ駐屯地歸還後ニ週間後鼻疽検査ヲ受クルモノトス

第七 各部隊派遣ノ爲携行又ハ交付セル諸物件ノ復旧ニ關スル報告ハ九月三十日迄 又第十第一項ニ依リ

各部隊内地歸還後返送スル衛生材料及獸医材料ノ報告期日ハ現品到着後十日以内ニ關東軍司令官ニ提出スルモノトス

前項ノ報告ハ特ニ獸用準備品ト然ラサルモノトヲ區別スルモノトス

第ニ 前各號ノ外細部ノ事項ニ關シテハ關東軍各部長ヲシテ指示セシム

別紙三ノ局長澤長五乙

第十四師団ヨリ派遣セラレタル軍隊
ヲ搭載セリ龍鳳丸ハ六日午後三時
青島出帆大連ニ向ヘリ

陸軍大臣宛 發信者 兼子師団長

批

総長同文

電報譯 九月六日 午前八時 五分 著

案五八三 五

陸軍省 2.9.7. 午前8時 官房往復

陸軍省 2.9.10. 3.15

陸軍省 2.9.7. 勸業課

陸軍省 2.9.7. 勸業課

第一五號

陸軍

第 五 號

電報譯 九月六日 午前午後 三〇時十五分 發著

陸軍次官宛 發信者 第十師團參謀長

濟南及沿線駐屯各部隊全部六日
午前八時青島ニ無事集結終了
セリ

陸軍

0147



卷 五八四 七

電報譯

九月七日 午前二時四十分發

第外和ニ號

陸軍大臣宛 發信者 才十師團長
殘置患者五名青島醫院ニ委託ス

8110

九月七日

内

一名 委託ス。他三升 大分りた
赤坂 内
赤坂 内
中野 内

(九月七日午後二時)



陸軍

147

0148

陸

軍

卷 五八五 七

電報譯

九月七日 午前八時

午後二時 四分著

第外和ニ號

陸軍大臣宛 發信者 才十師團長
預置患者五名青島醫院ニ委託ス



陸

五八五

電報譯

九月七日午前六時

九時四十分發

第外和四號

陸軍大臣宛

發信者第十師團長

本日正午師團司令部步兵第八旅團司令部步兵第十聯隊豫定ノ如ク青島ヲ出帆ス

陸軍

大臣

次官

軍電

防備

陸軍

次官

秘密本多

納見

陸軍省 密受第五八三號ノハ 第外和四號

電報譯 九月七日午前六時四十分發

陸軍大臣宛 發信者 第十師團長

本日正午師團司令部步兵第八旅團司令部
步兵第十、第三十九聯隊豫定、如
夕青島ヲ出帆ス

陸軍

1910

衛生

陸軍

第五三

電報譯

九九

九月

八月

日午

前發

十時

三十分

發著

第

號

陸軍大臣宛

發信者

第十師團長

殘置患者更二名ヲ青島醫院

ニ委託ス

陸軍省
2.9.8
午前8時

182

0152



大臣

陸軍

乃

卷五八三一〇

電報譯

九月八日 午前

午後 四時十分著



第三三三號



大臣宛 發信者 第十四師團長
飯沼野砲兵大隊工兵小隊八日正午 無事
揚陸終

陸軍

0153



閣

卷五八三 第一一

電報譯

九月十日 午前午後

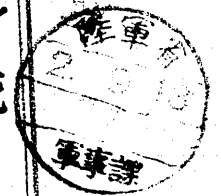
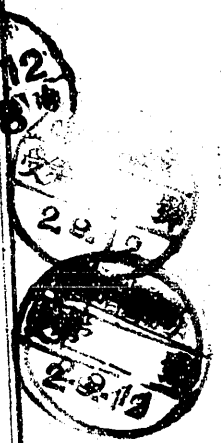
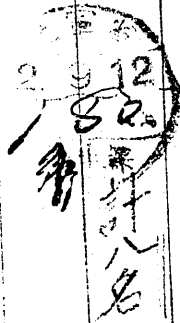
九時五分 十分著

第二三號

大臣宛

發信者 第十一師團軍醫部長

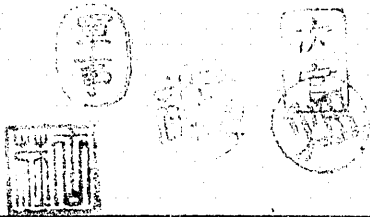
建者更ニ名ヲ残遺シ青島醫院ニ委託
セリ、残遺セル建者亦利同疑似六名燧
様宛起炎一名計ニ名トス他ニ運輸部傷
人一ヲ委託ス



陸

軍

0154



大臣
閣

閣

一 參謀
本部
參謀室
八三ニ
辨第一

卷
五八三
其三

臨時派遣第十師團ノ歸還狀況ノ件

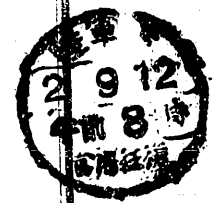
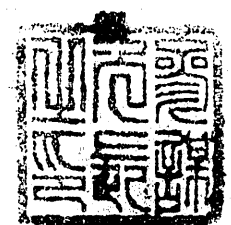
昭和二年九月十日 參謀次長 南

陸軍次官 畑 英 太郎 殿

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通上聞セリ

右通牒ス

次



内田

陸
軍

臨時派遣第十師團ノ歸還狀況ニ就テ

臨時派遣第十師團ハ九月八日豫定ノ如ク全部無事青島ヲ出帆シ
歸還ノ途ニ就ケリ其狀況左ノ如シ

一、師團ハ九月六日午前迄ニ其全兵力ヲ青島ニ集結セリ

二、滿洲ニ歸還スヘキ野砲兵第二十聯隊第二大隊及工兵第十四大隊ノ一小隊ハ六日午後青島出帆八日午前大連ニ上陸ヲ終リ九日
日前駐屯地ニ歸着セリ

三、師團司令部、歩兵第八旅團司令部、歩兵第三十九聯隊及歩兵
第十聯隊ハ七日正午、師團ノ殘餘ハ八日午後共ニ青島ヲ出帆
シ内地歸還ノ途上ニアリテ本十日ヨリ十三日ニ亘リ檢疫ヲ終
ヘ宇品ニ上陸スル豫定ナリ

密 五八三 一三

9 13: 午 8 時 寫 傳 往 復

第五一號

(同文)

電報譯

九月五日

日午 午前 午後

九時

四七

分發

陸軍大臣宛

發信者

陸軍運輸部長

運三八一

步兵第六十三聯隊 缺道班、電信班、衛生班、換疫揚陸士。日午七時急事終了。赤痢疑似二。赤痢菌保有者疑三。胃腹炎疑二。察見ス。馬匹異状ナシ

陸軍

0157

陸軍部 陸軍大臣 陸軍次官 陸軍省 陸軍 陸軍省 陸軍部

五八三

9 8 7 6 5 4 3 2 1
午前 午後
官務 郵便

第二二號

電報譯 九月十三日 午前七時五十分發

次官

宛

發信者

英十師各營長

次長 田文

九九

臨時派遣英十師各營長十三日上陸了
步四、後道班、電信班、十五自各其ノ街成地
帰著スルテ全部隊ノ輸送ヲ完了スルガ

陸軍

0158

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

密 五八三 一五

警校秘 竹宗 五五

臨時派遣第十師團派遣者歸還、關スル件報告

昭和貳年九月拾五日

陸軍軍醫學校長秋山練造

陸軍大臣白河義則殿

八月三十日陸機密第七〇號第三項ニ依ル肩題ノ件別紙
ノ通報告ス

陸軍省 2 9 17 305 軍事課

71

陸軍省 2 9 16 陸軍部 軍事課

陸軍

		陸軍軍醫學校	
別紙	到著日	氏名	後藤 鐸 枝
九月十四日	牌校相當官 一	官	
備考	陸軍一等軍醫		
	准士官以下 該當者ナシ		

陸軍

0160

九月十二日 守島

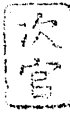
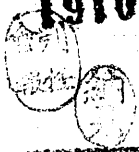
0120

0160

九月十二日 宇島港上陸



1910



密 五八三 一六

電報譯九

月五

日午前午後七

時

十分著



第一四號

大東亞 宛 發信者 第十師團長
山東 各部 其衛成地 歸着 十五日

陸

軍

2910

陸

電報譯

九月十二日 午前二時五十八分 發

陸軍次官宛

發信者 宇島第十師上陸派遣員

原田丸乗組部隊 十二日無事上陸完了

第三三號



陸軍



秘

密 五八三

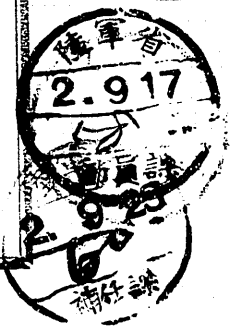
陸軍第四三七部

臨時派遣第十師團司令部ニ増加配屬セラレタル
者ノ復歸ニ關スル件報告

昭和二年九月十二日關東軍司令部 村岡長太郎

陸軍大臣白川義則 殿

八月三十日陸機密第七〇號第三ニ依リ首題ノ
件別紙ノ通報告ス



陸 軍

備考 將校同相當官官氏名左ノ如シ 關東憲兵隊 憲兵少佐 古岳新治 遼陽衛戍病院 一等軍医 前田信吉 鐵嶺衛戍病院 二等軍医 濱崎汀	計 七	九月十日	鐵嶺衛戍病院	—			
		九月九日	關東憲兵隊	—		—	
		到著月日	歸還部隊	將校同相當官下	士上等兵	臨時派遣第十師團配屬者ノ歸還部隊階級別人員表	



卷五八三六

一〇一ニ

臨時派遣鉄道班同電信班歸隊解散ニ関スル報告

昭和二年

近衛南園長 津野一輔

陸軍大臣

陸軍省

陸軍省 2.9.21

陸軍省 2.9.21 午前8時

陸軍省 2.9.21 軍事課

陸軍省 2.9.17 5時 勅員課

臨時派遣鉄道班同電信班ハ九月十五日各原所屬部隊ニ復歸シ同日解散セシニ付昭和二年八月三十日軍令陸甲第六號ノ四ニ依リ報告ス

陸軍

第五〇三三九

二七九

臨時派遣第十師團司令部へ増加配属衛生部

要員復歸ノ件報告

昭和貳年九月拾六日

第十四師團留守隊司令官齋藤義典

陸軍大臣白川義則殿

臨時派遣第十師團司令部ニ増加配属セラレタル衛生部要員左記ノ通原所傷病院ニ復歸シタルニ付臨時派遣第十師團解散歸還ニ関スル規定第三號ニ依リ報告ス

左記

到着日 九月十四日

階級別人員 二等看護長一 一二等看護卒七

9.17. 衛生部

21 衛生課

陸軍省 9.28 2.9.17 時 衛生課

陸

陸軍大臣白川義則殿

臨時派遣第十師團司令部ニ増加配屬人員復飯ノ件報告

昭和貳年九月拾五日

第十師團長長谷川直敏

陸軍大臣白川義則殿

當所管ヨリ臨時派遣第十師團司令部ニ増加配屬ノ將校一者護長一者護卒七、左記ノ通原所屬部隊ニ復飯シタルニ付報告ス

左記

原所屬部隊	到着日	階級人員(官氏名)
姫路聯隊區司令部	九月十一日	陸軍歩兵大尉 渡邊 四朗
姫路衛戍病院	九月十三日	一等者護長 三三 護卒 三

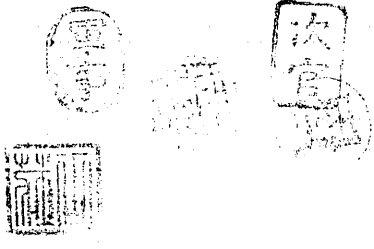
9 17 午前 8 時

9 21 午後 2 時

9 23 午後 8 時

岡山衛成病院	鳥取衛成病院	松江衛成病院
九月十三日	九月十四日	九月十四日
一、二等看護卒	一等看護卒	二等看護卒

6910



知

本參 部謀 密第 八五二 號第一

臨時派遣第十師團歸還終了ノ件

昭和二年九月十七日

參謀次長 南

次

郎

陸軍次官 畑 英 太 郎 殿

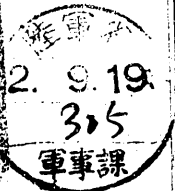
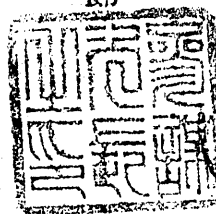
首 題 ノ 件 ニ 關 シ 別 紙 ノ 通 上 聞 セ リ

右 通 牒 ス

第五八三二



付見



陸 軍

臨時派遣第十師團歸還終了ノ件

臨時派遣第十師團中内地ニ歸還スヘキ部隊ハ豫定ノ如ク去ル十日ヨリ十三日ニ至ル間ニ於テ逐次字品ニ上陸シ十五日迄ニ各其衛戍地ニ歸着シ茲ニ無事師團全部ノ歸還ヲ終了セリ

右 謹 テ

上 聞 ス

昭和二年九月

參謀總長

鈴木 莊 六

陸 軍

1210

陸軍省
第五師團
第一五號

第五師團 第一五號

派遣將校復歸ノ件報告

昭和二年九月十七日 第五師團長 牧 達之

陸軍大臣 白川義則 殿

臨時派遣第十師團司令部ニ増加配屬セラレタル左記ノ者九月十四日
原隊ニ復歸セシニ付陸機密第七〇號第三項ニ依リ報告ス

左記

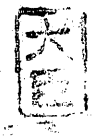
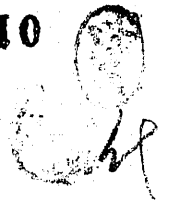
歩兵第四十二聯隊附

陸軍歩兵大尉 織田昌一



陸軍

0172



陸軍省
第五八三三三三

昭和二年九月十六日

第十師團各部隊衛戍地歸着、件報告

昭和二年九月十六日

第十師團長 長谷川直

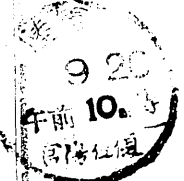
陸軍大臣 白川義則 殿

山東派遣中ノ第十師團各隊ハ十日乃至十

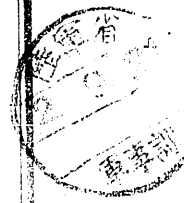
三日ノ間ニ於テ宇品上陸ヲ完了シ十五日迄

ニ異状ナク全部各其衛戍地ニ歸着ス依

テ軍令陸甲第六號四ニ基キ報告ス



納見



1

0119

0173

五八三二五

一〇三二號

臨時派遣第七師團司令部增加
既屬人員復歸ニ關スル件報告

昭和二年

首題、件左記、通復歸ニタルニ件昭和三年八月
三日陸機密第七〇號、三三依リ報告ス

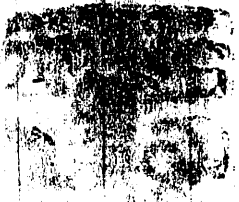
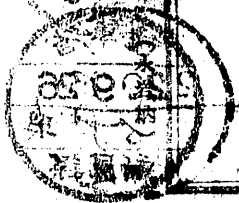
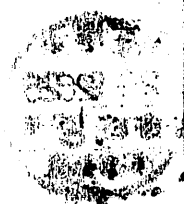
左記

帰隊期日	所屬	官等	氏名
九月十四日	近衛師團司令部附	歩大尉	齊藤三郎
九月十四日	近衛師團司令部附	中尉	高橋彦



九月三十日	野野重理少 第四師團	一等看護長 長谷川忠三
九月十四日	牛草衛少 院	一等看護長 一名
九月十八日	下志保衛少 院 附	一等看護長 一名

進子工兵大尉 銅 波友愛 一等生計 平井勇
 計中一及技中一八 殘留整理 為第十師團司
 令部ニ殘留アリ



47
 1-7
 海

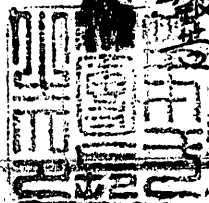
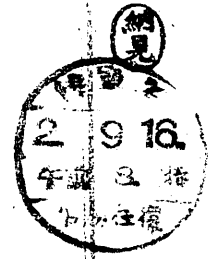
密 五五五〇三

臨時派遣第十師團司令部ニ臨時増加セラレタル人員復歸ノ件報告

昭和二年九月十五日 第一師團長 和田 龜

陸軍大臣 白川 義則 殿

本年七月臨時派遣第十師團司令部ニ臨時増加セラレタル衛生部
要員并校同相當官以下別紙ノ通九月十四日各所屬部隊ニ復歸
セシ付昭和二年八月三十日陸機密第七〇號臨時派遣第十師團
解散歸還ノ関スル規定ニ依リ報告ス



第一師團各部復歸將校同相當官人名

歩兵第一聯隊

一軍軍醫

菊地

齊

東京第一衛戍病院

全

進藤

舛

全

二軍乘前官

末

武

三

東京第三衛戍病院

全

河島

三

徳

第一師團各部隊復歸下士卒人員表			
所屬部隊	階級	人員	
東京第一衛戍病院	上等看護長	一	
全	二等看護長	一	
全	一等磨工長	一	
東京第二衛戍病院	一等看護長	一	
全	二等看護長	一	
東京第一衛戍病院	一等看護長	九	包含 可合人
東京第二衛戍病院	全	四	
第一師團經理部	上等計手	一	
全	一等計手	一	

陸軍

五八三三七

六四七

2 9 30
前 8 時
後 時

2 10 3
305

陸軍部
2 10 5
第 20 號
機務課

山東派遣部隊ノ返還狀況ニ関スル件報告書

昭和貳年九月廿九日

憲兵司令官 峯

幸松

陸軍大臣 白川義男

満洲駐劄ニ引續キ山東方面派遣中ナリシ臨時派遣第十師團各部隊ハ八月二十日附撤退命令ニ依リ九月十一日乃至九月十五日夫々各衛戍地ニ返還セリ狀況左記ノ通報告ス

左記

一 返還日時並ニ返還人員

返還部隊名

区 分

返還人員

返着地

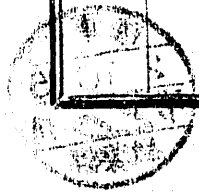
返

着

日

時

第十師團司令部	二八	姫路	九月十一日午後四時五十分
步兵第八旅團兼司令部	四	〃	〃
步兵第三十九聯隊	五四二	〃	午後五時八分
合	七七	〃	午後四時 ^四 十分
合	三三八	〃	午後五時五十分
步兵第三旅團司令部	五	岡山	午後二時三十分
步兵第十聯隊	七八三	〃	〃
合名	一一七	〃	九月十三日午後六時三十分
步兵第六十三聯隊	八四五	松江	午前十一時十五分
步兵第四十聯隊	八四四	高取	九月十五日午前十一時三十分
計	三四八三	四	本八回



二軍紀風紀ノ状況

一報ヲ状況

飯還部隊ノ軍紀風紀ハ概ネ嚴肅ニシテ特ニ海外勤務ニ基ク著シキ影響アルヲ認メス然レ共多数中ニ姿勢態度敬礼等嚴正ナラサルモノアリテ稍軍紀風紀ヲ弛緩セルニ非ラスヤト感セララル、モノアリ

三將校以下士氣ノ振否

一般ニ士氣頗ル旺盛ニシテ特ニ永年ノ海外勤務及輸送ニ関スル疲労ノ色ナク只管大任ヲ了ヘテ飯還セルヲ歡喜シ士氣不振ノモノヲ認メス

三非違犯罪ノ状況

...

飯還ニ際シテハ一般ニ緊張ノ色アリテ携帶禁制品ヲ犯

ニ其他違法遺式ニ涉ルモノアルヲ認メス

々善行者ノ状況

該當者ナシ

々其他

巡遣中ノ負債未拂官給品ノ隱匿過剩物品ノ不當處

分商人對經理官等ノ不正行為、春運其他ノ禁制品

携帶等ノ有無ニ関シテハ目下其事實アルヲ認メス

三地方官民ノ歡迎状況

ノ第十師團司令部及歩兵第八旅團司令部姫路到着

ニ際シテハ兵庫縣知事姫路市長、在姫各官衙長、在

郷軍人聯合分會長、在郷將校等停車場構内ニ出迎
 一在郷軍人分會、青年團、愛國婦人會、各學校生徒
 其他市民父兄等無慮數千姫路駅、師團司令部間
 沿道ニ整列歡迎ヲ爲シ列車到着ト共ニ知事市長等
 ハ師團長旅團長ニ對シ祝辞ヲ述ヘ之ニ對シ師團長ハ
 謝辞ヲ述ヘタル後司令部ニ敬還シタルカ此ノ間官民ハ最
 モ熱誠ニ歡迎セリ

又各部隊ノ各衛戍地到着ニ際シテハ各縣知事又ハ代理(鳥
 取ハ學務部長、島根ハ内務部長)及各市長市會議員裁判
 所長、學校長其他各官公衙ノ長並各衛戍地附近在郷軍
 人分會、青年團、婦人會、處女會等ノ代表者官公吏等

多数駅頭ニ出迎へ夫々歓迎並犒勞ノ挨拶アリタルカ
道ニ各在郷軍人分會員青年訓練所員學校職員
生徒一般市民返還軍人家族等数千名乃至一万数千名
整列歡迎ヲナシ尚駅頭ニ結門ヲ建設シ各戸ハ軒頭
ニ國旗及熾灯ヲ掲揚シ歡迎ノ誠意遺憾ナク示揮セ
ラレタリ其他返還軍隊ニ對スル物質的歡迎ノ主ナルモ
ノヲ挙ケレハ左ノ如シ

(1) 姫路市ニ於テハ市會ニ於テ返還部隊歡迎費二千五百
円ヲ計上シ前記歡迎事業ノ外返還將校准士官ニハ
歡迎宴ヲ催シ下士以下ニハ各々紀念品(價額約七十錢)
ヲ贈呈スルコトナセリ

(ロ) 姫路商業會議所ニ於テハ飯還將卒及其ノ家族ニ對シ慰勞ノ爲メ商品割引券ヲ贈呈セリ

(ハ) 鳥取縣廳ニ於テハ縣知事主催ニテ九月十七日飯還將校一同ヲ市内料亭ニ招待シ歡迎宴ヲ催シタリ

(ニ) 鳥取市ニ於テハ臨時市會ニヨリ歡迎費一千六百五十七円ヲ計上シ前記一般歡迎ノ外派遣者殘留者一般ヲ通シ准士官以下ノ酒一石五斗菓子八百二十九箱及特ニ鳥取市出身者ニ記念品木杯半個ヲ贈呈シ殘餘ヲ以テ將校ニ對スル歡迎宴ヲ催スコトセリ

(ホ) 鳥取市内各活動寫真館ハ飯還將卒慰勞ノタメ各一日ノ無料公開ニテ觀劇ヲ提出スヘク軍隊宛申出

タリ

(ハ) 松江市ニ於テハ、松江市會ニ於テ歓迎費一千五百円ヲ計上シ前記一般歡迎ノ外故還下士以下ニ對シ慰勞品トシテ酒ニ石及鯛若干ヲ贈リ准士官以上ニ對シテハ歡迎宴ヲ催ス事トセリ

(ト) 松江市在郷軍人聯合分會ハ松江市出身兵卒ニ對シ貯金通帳(一人三十銭宛預入)ヲ贈與セリ

(ケ) 松江市相生町民ハ金百円ヲ醸出シ町ノ中央ニ歡迎線門ヲ樹テ飯還當日金町燈灯ヲ吊リ各戸ニ國旗ヲ掲揚シ部隊通過ニ際シテハ金町民戸前ニ整列シテ歡迎セリ

(1) 島根縣大東郡津田村親和會及同村尚武會、共ニ
 約百田ヲ醸出シ松江歩兵第六十三聯隊營前附近ニ
 練門ヲ建テ全郡乃木村尚武會ハ約八十田ヲ以テ同
 村沿道ニ同シク練門ヲ設ケ各々部隊通過ニ際シテ
 村吏員並ニ村民ハ練門附近ニ整列シテ歡迎セリ
 四面會者ノ狀況及軍隊側ノ處置

敵還當日停車場ニ出迎タル敵還者ノ父兄家族其他ハ
 各駅共其數數千乃至一万ニ及ヒタルカ各留守隊ニ於テハ
 面會者ノ之メ隊ヲ駅構内廣場ニ面會所ヲ設ケ全所ニ
 待合ハ之メ部隊敵着後約二十分乃至三分ノ休憩時間ヲ
 利用面會セシメタルカ各面會所ニテ面會セル者約一千名

ニ及ヒ場所ノ狭クナルト時間僅クノタメ更ニ兵營ニ到リ面
會ヲナスモノ約一千名ノ多数ヲ算シタリ

五 飯還者中要注意者ノ狀況

飯還要注意者ハ八名(廿三九ニ思要一、廿四〇ニ思要ニ、廿六三ニ
思要一、廿一〇ニ思要三、勞要一)アリタルカ概シテ穩健ニシテ
不穩ノ言動ヲ洩スモノナシ

六 飯還兵ニ對スル軍隊ノ措置

各留守部隊ハ飯還數日前ヨリ兵舎内外ノ整頓ヲナシ師
團長飯還ニ對シ留守部高等官各部隊長ハ停車場ニ
各部隊ハ沿道ニ整列出迎ヲナシ又各衛戍部隊ニ於テモ
將校以下停車場或ハ沿道ニ之ヲ出迎ハ尚飯還軍人ニ對ス

ル面會者ハ豫メ駅前廣場及管内ニ假面會^新設ケ各々
 使役兵ヲ以テ之カ受付誘導ニ任シ面會者相互ノ利便ヲ
 圖レリ

尚敵還者中炎熱其他ノタメ各部隊共下病患者數名ヲ
 出シ赤痢若クハ疑似患者トシテ入院セシメタルモ其後保菌
 者ハ隔離シ且被服全部ノ消毒並健康診斷ヲ行ヒ夫々
 豫防ヲ行ヒタルタメ數日ニシテ有菌者並患者モ漸次減少
 シ目下全部ヲ通シニ名ノ患者ヲ存スルノミニ至レリ其他一
 般敵還者ニ對シテハ概ネ四日間ノ慰勞休暇ヲ附與シ目
 下交代ニテ各々郷里ニ敵還セシメウハアリ

七營外者住宅ノ狀況

全

四

五

本年四月滿洲駐劄地ヨリ飯還ヲ豫想シ各留守部隊ハ憲
 兵ト連繫之カ斡旋ニ努メ當時一應ノ完備ヲ爲シタルカ
 其後山東派遣ト共ニ飯還延期トナリ一部ノ変更アリシモ
 其後ノ斡旋ニヨリ一般ニ概テ順調ナルヲ得タリ
 飯還ニ関シ各衛戍地共住宅賃ノ変動ヲ来シタルカ如キ
 コトナシ

ハ、警察事故

各衛戍地共憲兵ハ軍隊並市當局ト連繫概テ令隊長
 以下全員ヲ以テ取締ニ任シタルカ警察事故ナシ

0610

卷第五十三頁

一一〇二

臨時派遣第十師團司令部增加配属人員復歸ニ関スル件報告ニ關

昭和二年八月

津野一輔

之六

首題ノ件左記ノ通復歸ニタルニ付昭和二年八月三十日陸機密第七〇號ノ三ニ依リ報告ス

左記

歸隊月日	所	属	官等	氏名(人員)
九月二十九日	鉄道第一聯隊附	工兵大尉	視	波友愛
十月三日	近衛師團經理部附	一等主計	平	井勇
十月三日	同	右	二等許手	一名

2. 10. 10 305

2. 10. 10 時 課

2. 10. 11

2. 10. 13

1610

2610

卷五八三

二九

第六號

電報譯

十月十日

午後二時五十分發

發信者

十師團長

陸軍大臣宛
青島醫院
無事歸還
夜既患者七名九日

軍事課三回覽セシタキ旨通知アリ

官務局一衛生課

13:18 衛生課

陸軍省 2.10.20 軍事課

陸軍省 10:08

陸軍省 2.10.12 午後二時 軍事課

陸軍省 午前二時 防備課

陸軍

1610

2610

密 五八三 二九

電報譯

十月十日 午前午後

二時五八分發

第六號

陸軍大臣宛
發信者 十師團長
青島醫院
無事歸還
夜既患者六名九日

陸軍省
2.10.13
衛生課

陸軍省
2.10.20
軍事課

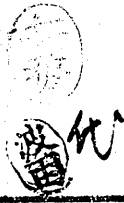
陸軍省
2.10.12
午後二時

陸軍省
衛生課

陸

軍

86100



陸軍省
師團
臨時派遣第十師團解散歸還ニ關聯シ
定員外トナリタル者ノ件報告

師團 貳第七六四號

臨時派遣第十師團解散歸還ニ關聯シ
定員外トナリタル者ノ件報告

昭和二年十月廿二日

第五師團長 牧

達之

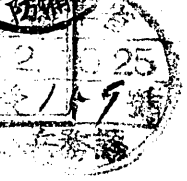
陸軍大臣 白川 義則 殿

本年八月三十日陸機密第七〇號第六ニ該リ原所屬部隊ニ於テ定員外トナリタルモノ左記ノ通ニ付報告ス

左記

原所屬 歩兵第四十二聯隊 歩兵曹長一名

本人員ハ九月三十日附陸軍運輸部附ヨリ歩兵第四十二聯隊附ヲ命セラレ十月十九日歸隊セシモノニシテ十二月一日定員内ニ入ル見込アルモノトス



陸軍

0194



11

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省
昭和二年九月十九日

2.9.20
午前10.

21
175

陸軍省
2.9.20
67
補任評

陸軍甲第五〇〇號

臨時派遣第十師總司令部へ増加配屬者原隊復歸ノ件報告

昭和二年九月十九日

陸軍造兵廠長官吉田兼

陸軍大臣 白根 義典 殿

左記ノ者第十師總司令部附設御付青島へ派遣中ノ處頭書ノ通原隊へ復歸シタルニ付報告ス

左記

陸軍造兵廠職員兼陸軍造兵廠東京工廠職員

陸軍省
2.10.4
58
勅員課

一 昭和二年九月八日青島出張

陸軍二等軍醫正 水井 人 雄

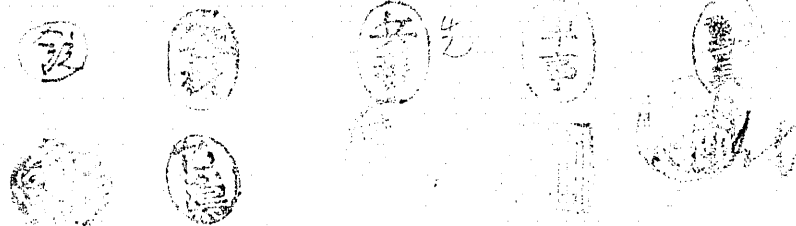
一 同 同上品津上陸

一 同 同 十四日歸 殿

了

陸軍

0195



客 五八四二

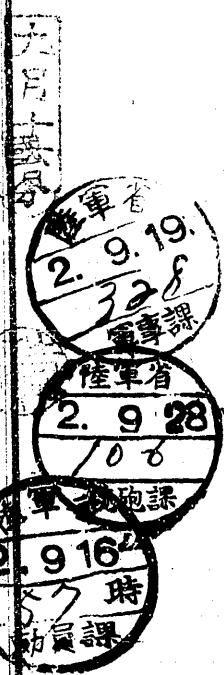
陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

臨時派遣鉄道同電信班解散歸還ニ関スル規定并報告

近衛師團長津野一輔

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

首題ノ件ニ関シ別紙ノ通規定セシテ并報告ス



用済後再廻相成度

勤員課

9610 陸

軍

0196

9610
陸

軍

用済後再廻相成度
勤員課

外報告ス

陸軍省
2.9.26
177
器材課

津野

規程報告

陸軍省
2.9.16
57
勤員課

2.9.28
108

陸軍省
2.9.28
108

陸軍省
2.9.16
57
勤員課

臨時派遣鐵道、同電信班解散歸還ニ關スル規定

近衛師團司令部



- 一、本規定ハ昭和二年八月三十日軍令陸甲第六號及陸機密第七〇號以外特ニ師團ニ於テ必要ナル事項ヲ規定スルモノトス
- 二、臨時派遣鐵道（電信）班ノ編成擔任官ハ該班原所屬部隊ニ歸着後直ニ其編成ヲ解キ平時ノ編制ニ復セシムルモノトス
- 鐵道第一聯隊長ハ鐵道班付軍醫一ヲ前項解散ノ當日原隊ニ復歸セシムルモノトス
- 三、前項ノ解散日次ハ直ニ之ヲ師團長ニ報告スルモノトス但解散時ニ於テ編成定員ヲ缺クモノアル時ハ階級別人員及將校ニ在リテハ官氏名ヲ以テ其事由ト共ニ師團長ニ報告シ爾後該人員歸還セハ其都度報告スルモノトス

四、兵器ニ関シテハ尤、如ク處理スルモノトス

(1) 派遣ニ際シ東京陸軍兵器支廠若ハ千葉陸軍兵器支廠ヨリ交付ヲ受ケシ電信器材若ハ鉄道器材ハ師團兵器部ヲ經テ當該兵器支廠ニ返納ス但該返納兵器目録(陸細附録第百様式)ハ一通ヲ調製シ師團兵器部ニ送付スルモノトス

✓ (2) 派遣ニ際シ携行シタル刀劍ハ減又スルコトナク其隊戦用兵器ニ充當ス

(3) 兵器復舊費調査表(陸細附録第百ニ準ス)四通ヲ調製シ解散後十五日以内ニ師團長ニ報告ス

五、帰還部隊ノ給養ハ内地港灣上陸、時ヨリ當該部隊ニ於テ擔任スルモノトシ其給養ハ陸軍旅費規則第五表旅籠料定額ノ倍額内實費支辨トス

六、携帶口糧ハ原所属部隊ノ平時用ニ充當スルモノトス

前項携行品ニテ使用ニ堪ニサハモノアル時ハ解散後十五日以内ニ
 経理部長、療品承認ヲ得テ之ヲ處分スルモノトス

七 着装又ハ携行セル被服品ハ附表第一様式ニ依リ調査ノ上

其二通ヲ解散後十五日以内ニ師團長ニ報告スルモノトス

八 金櫃、公用行李ニシテ加務スルニアラサレハ使用ニ得サルモノハ

成ルヘク速ニ之ヲ修理ヲ施行シ其費用ハ其部隊臨時費

前渡資金ヲ以テ支辨スルモノトス

衛生材料ハ左、如ク處理スルモノトス

イ 戦用衛生材料

(1) 携行及携帯衛生材料ハ差出衛生材料ニ返納ス

(2) 衛生材料ハ前項ニ依リ返納ヲ受ケタル最用衛生材

料ノ品質使用量ヲ調査シ附表第二(第三)第四及第五ノ

様式ニ依リ使用表整理表、復舊表及復舊費調査

各二通ヲ解散後十五日以内ニ師團長ニ提出ス

口、常用衛生材料其他

(1) 携帶衛生材料ハ各差出部隊ニ返納シ其ノ内容薬物消耗品ハ其隊ノ消耗拂トス

(2) 赤十字臂章ハ師團軍醫部ニ返納ス

十臨時派遣鉄道及電信班場行ノ勤務令中師團司令部ヨリ交付セシモノハ速ニ返納スルモノトス

土上陸後各籍成地ニ歸還解散迄ノ所要經費ハ各々其部隊ノ前渡資金ヲ以テ支辨シ其決算書類ハ成ルヘテ速ニ

(臨時派遣第十師團ニ於テ特ニ規定セラルルモノハ此ノ限ニアラズ) 近衛師團經理部ヲ經テ第十師團經理部ニ

送付スルモノトス

送付スルモノトス

送付スルモノトス

臨時派遣鐵道電信班被服
昭和三年九月日調
何 隊

品目	軍 障										計	何
	新品	第壹裝	第貳裝	第參裝	第肆裝	第伍裝	第陸裝	第柒裝	第捌裝	第玖裝		
單價												
增訂使用高												
原價												
員數												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												
員數												
價格												
原價												
價格												

軍事検査
附表第一

何衛成病院衛生材料使用表		昭和 年 月 日 記	
品目	制式	数	計
	数称	何部改端成否	何部改端成否
		員	

製表上ノ注意

一、品目記載ノ順序ハ器械ニ在リテハ衛生材料器械制式解
説第一編、藥物ニ在リテハ陸軍衛生局方、消耗品ニ在リテハ

「イロハ」順ニ依ルヘシ

二、使用数ハ変更ノ事ハ消費ニテ調辨シタルノ及因下種換請

求中ニテハ際々計上スヘシ

軍事機密

附表第三

河衛成報院衛材科整理人

昭和 年 月 日 調

		品目	制式	数	称	品質	区分	現在数	戦用ニ適スルモノ	戦用品ノ 用ニ適スルモノ	適セサルモノ	常用ノ 品モノ	廢品

製成表以上注意

- 一 品質区分欄中「劣」ハ完全品下「不」ハ完全品ヲ示ス
- 二 其他ハ使用表製成表上ノ注意ニ依ルハシ

軍事検査

附表第一回

何種武器彈藥衛生材料
復舊品
昭和年月日調

品目	制式	数	称	戦中		戦後	
				使用数	復舊品 用之得年	現存数	不足

製表上ノ注意

二使用数ハ使用表ニ依リ記入シ復舊品ニ適用シ得ヘク

現存数ハ整理表ニ復舊品ノ元ヨリ定メテ掲テ入シ

二其他ハ使用表製表上ノ検査ニ依リ入シ

軍事秘密

附表第五

何衛文研院復舊費調查 昭和洋海 調

品目		判式	款称	復舊 區分	員数	金額
				修		
				新		

製表上ノ注意

- 一 復舊分「修」新調費「修」修理費カホス
- 二 本表ハ衛生材料修正費及復舊費カ別ニ調製スルニ
- 三 其他ハ衛生材料使用表製表上ノ注意カ依ルニ